

## 2023年度 学校評価公表シート

江別キリスト教学園 認定こども園 若葉幼稚園

本園では、キリスト教の精神に基づいて保育を整えたいと願っています。乳幼児が神様から与えられた尊い命を生き、成長する力を秘めた「光の子」であり、目に映る事柄の背景に、神様の守りと導きを信じ、安心する心、感謝する心、優しい心が育てられていくことを大切にしています。2023年度は、新型コロナウイルス感染症対応が5類に移行し、対応が緩和されましたが、他の感染症対策に追われた感があります。基本的な姿勢を崩さず歩むことはできたと思っております。

しかし、年度末に至り職員との間に契約更新でのトラブル、理事長のセクハラ問題などで激震が走りました。理事長、園長、副園長の解任、退職、理事会の刷新などの決断をし、新年度には大きく生まれ変わり、新たな歩みを始めます。

そんな中ではありますが、年末年始に2023年度の保育を振り返りながら、職員アンケートを行いましたので、その回答をもとに学校評価としてまとめて公表シートといたしました。アンケートの記述を園長が取りまとめ、PTAの役員の方々に目を通していただき、以下の公表シートとして提示いたします。公表時期がずれ込んでしまったことをご詫言し、ご意見をお寄せくださるようお願いいたします。

若葉幼稚園が掲げる保育目標は以下の通りです。

- 1.神の愛を知り、神が共にいてくださることを知る。
- 2.神から与えられる命の尊さを知り、命を大切にする。
- 3.思いやりの心を持ち、友達にやさしくできる。
- 4.美しいものに感動し、自分たちも美しいものを作り出す。
- 5.自分の考えをはっきり述べ、友達の生活も大切にする。
- 6.全身を使ってのびのびと遊ぶ。

アンケートは、上記の保育目標を日常的にどの程度意識しているのかから始め、自らの職務に対する理解と貢献度、この一年の園児たちの活動状況の評価と分析、ベースとなるキリスト教理解などの自己理解を問うたものです。保育士、事務、給食の31名から回答を得ました。事務、給食など保育を再度から支える方には、応えづらい設問もありますが、御自身の理解からの応答をしてくださいました。回答から、職員の意識が大まかにどのあたりに集中しているのかを園長がまとめました。

2023年度の若葉幼稚園・内部評価として以下を提示します。

前文で触れたとおり、年度末に大きな課題が示されています。大きく体制が変わる中、新たな若葉幼稚園で、さらなる幼児教育・保育の充実を願っています。

評価項目	取り組み状況	評価
保育目標の意識と、今後、強めたい項目など。	<p>保育士の多くは高い意識で保育目標を意識している。ただ、あまり気にしていない、との回答も複数あるため、語り合う時間の設定が求められる。</p> <p>土の保育目標も大切なものだが、特に、保育目標の1, 3, 6が、よく意識される項目として選択されている。神の愛を受けた者が、友人とのかかわりも良好に深め、健康に成長する姿を見届けたいとの願いが結びつきやすいのだろう。</p> <p>自分なりに力を入れたい事柄として、「自主性を育てる」を上げた方が複数いて、自己肯定感を育てることを模索している意識がうかがえる。</p> <p>事務・給食では職務上、保育目標を意識すること自体に濃淡がある。わずかな機会でも園児と接する際には思い起こし、対応に生かそうとする姿勢は見取れる。</p>	B
業務計画と実践での充実について	<p>計画の立案をするものと、立案に基づいて保育するものとの立ち位置も変わることが読み取れるが、皆、それぞれに充実感を感じている。また、計画達成できたものと、できなかったものを振り返りながら、今後への展開を課題としている。立場の差はあるが、計画を読み込んで共有するために伝達の充実がこれからも必要となる。</p> <p>事務職は計画・達成の充実度は高い。良い働きがなされた。</p> <p>給食食育担当は、幼児への食育を年間において計画的に取り組んだことでの充実がうかがえる。</p>	B+
園児の実態に合わせた対応	<p>保育士は、園児の表情をはじめ朝の受け入れ時の視診によって体調等を把握し、気になる点があれば、同僚、主任、副園長、と情報を共有し、保護者への連絡判断に結び付けている。</p> <p>園児の内面の気づきを、把握できている職員と苦手な職員とが当然ながらいる。経験を積む中で感知する面もあるが、ケーススタディなどの検討会を導入することが必要と感じる。子どもたちの自発的行動を受け止める自由保育が、勝手気ままなほったらかしにならぬよう、内面の気づきを促す働きかけに力を注いでほしい。今年度、緒に就いた動きとして捉え、今後の発展に期待する。</p> <p>また、子どもの発言、行動を待とうとしながら、先に手を差し伸べてしまうことへの反省も見られた。</p> <p>園児たちが年齢に応じた育ちを見せていることを喜びつつ見守っている記述も多くあった。</p>	B+
職務についての資質・能力・良識	<p>自己点検を求めた。幼稚園に対し、自分なりに貢献できているという意識は高い。また、同僚との協働性にも満足度は高い。専門性の追求として研修への期待もあり、特に発達支援、障がいへの対応分野への関心が高い。日常的な学びはインターネット、Webから得るとする者が多い。課題は、乳幼児に対してその尊厳を尊重する姿勢の深まりと、協同性のさらなる追求である。</p>	B
建学の精神について	<p>全く理解できないとの回答が一軒あったのは残念だが、多くは分からないながらも、建学の精神として理解する努力は継続している。心に残る聖書箇所などは、それぞれの関心から多様だが、「放蕩息子」に考えさせられたとの声が複数ある。</p>	B